

2015年2月20日

## 抗 議 文

**米原子力潜水艦ルイヴィルの横須賀基地入港に強く抗議する。横須賀基地は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦ルイヴィルはただちに横須賀港を出て行くことを要求する。**

在日米海軍司令官 テリー・クラフト少将 殿

米海軍横須賀基地司令官 デービット・グレニスター大佐 殿

神奈川県労働組合総連合

新日本婦人の会神奈川県本部

神奈川県商工団体連合会

神奈川県平和委員会

安保廃棄神奈川県統一促進会議

原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

原水爆禁止神奈川県協議会

2月19日午前10時07分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦ルイヴィルが横須賀基地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年3回目で、原子力艦の入港は、通算900回となった。現在、原子力空母ジョージワシントンが横須賀に滞在しており、横須賀基地には、原子炉3基が存在する異常な事態となっている。

この2月は、原潜ハワイが5日、原潜オリンピックが11日に横須賀港に入港している。何と今回の原潜ルイヴィルの入港で2月だけで3回も原潜の横須賀入港となる。このように原子力艦船の入出港が頻繁に行われることは、原子力艦の原子炉事故の危険性を増大させるものである。

1966年原潜スヌークが、初めて横須賀に入港してから、今回の原潜ルイヴィルの入港で、実に49年間に900回も入出港したことになる。あらためて、横須賀基地の原子力艦船の母港化に強く抗議し、原子力艦船の横須賀母港をただちにやめることを要求する。

「戦争はしない」と決めた憲法9条を持つ日本で、戦争のための軍艦が入出港を繰り返している。これは、米軍が東アジアでの軍事行動を強化していることを意味し、アジア・太平洋の平和と安全にとって害悪をもたらすものである。米軍の艦船による東アジア・太平洋での軍事演習は昨年度を見ても回数が増えている。東アジアでの軍事演習をただちにやめることを要し、原子力潜水艦ルイヴィルの横須賀入港に断固抗議する。

福島原発事故から3年11ヵ月が経った。未だ12万人が避難生活を余儀なくされ、放射能被害に苦しめられている。首都圏や横須賀基地を含む三浦半島で巨大地震の発生確率が高まり巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性が増大している。われわれはこれまで、繰り返し巨大地震による原子力艦船の事故対策に明らかにし情報を公開することを要求してきた。しかし、米軍は、原子力艦船の「安全神話」を押しつけ、情報開示を拒否する態度に終始している。県民の要求に答えず原子力艦船が横須賀港に入港することは断じて許されない。改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、事故対策について明らかにすることを強く要求する。

米原潜の核兵器搭載の可能性も否定できず、「核持ち込み」の問題も重大である。核密約によって核兵器が横須賀に持ち込まれていたことは、すでに明らかになっている。核兵器は積んでいないことを証明すると同時に、核密約はただちに破棄することを要求する。

横須賀基地は原子力艦船の母港でない。原子力潜水艦ルイヴィルは、ただちに横須賀から出て行くこと。原子力空母ジョージ・ワシントンの「定期修理」は中止し、本国にただに帰国すること。さらに、原子力空母ロナルド・レーガンへの交代はやめこと。

以上を強く要求する。